

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128060
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市民花火大会事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市民花火大会実行委員会			に対して	
	手段	花火大会の実施に伴う経費の一部負担			を行うことで	
	受益者	関市、関市の産業界及び関市民			が(を)	
	意図	市民に花火を楽しんでもらい、関市の産業及び観光が発展する			という状態にする	
⑥期間	H31年4月16日～		R2年2月13日	補助・負担開始年度	平成22年度	
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他( )	
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算		補助・負担率を定めている→補助率		
	5,000	7,000	5,000	7,000		単価を定めている→算式		
						○定額補助・負担	その他( )	
②過去における見直し状況	なし							
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	15,739千円		R1歳出決算額	15,739千円		翌年度繰越額	0千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合			31.8%	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1現状のまま継続		2補助・負担内容を見直す		3縮小・減額を検討
		4統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	協賛金の獲得に力を入れる必要もあるが、開催に伴う経費(主に警備費及びシャトルバス)が嵩みつつあり、今後の増額も予想される。					

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128060
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	刃物まつり事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市刃物まつり実行委員会				に対して
	手段	第52回関市刃物祭りの開催に伴う補助				を行うことで
	受益者	観光客、関市、関市の刃物関連業者、観光事業者及び商店街				が(を)
	意図	関市の観光、産業の振興、経済発展及び地域活性化に貢献する				という状態にする
⑥期間	H31年6月1日～		R2年3月31日	補助・負担開始年度	昭和43年度	
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他( )	
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	17,700	11,000	7,692	12,870	単価を定めている→算式	
					○定額補助・負担	その他( )
②過去における見直し状況	なし					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	8,240千円		R1歳出決算額	8,240千円	
	R1歳入に占める補助・負担金の割合	93.3%		翌年度繰越額 0千円		
	決算額を把握していない					

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適当	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	市からの補助金によって、会場設営費、会場警備費等の費用をまかなっているため、市の補助金が減額されれば開催することができない。
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	1現状のまま継続	○	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討		5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	刃物を使った事件等の影響による会場警備費用の増加や、会場設営委託等に係る人件費の増加により、イベントを開催するための業務委託費が年々増加している。例年通りの規模で刃物まつりを開催するためには、実行委員会による自主財源の確保や、市からの補助金増加を検討する必要がある。			

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128065
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	観光協会事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市観光協会			に対して	
	手段	関市の観光産業の発展に伴う補助			を行うことで	
	受益者	関市、観光事業者、刃物産業をはじめとする市内の事業者、飲食店をはじめとする市内の店舗、観光客			が(を)	
	意図	観光、産業並びに地域の活性化及び経済効果を生む			という状態にする	
⑥期間	H31年4月1日～R2年3月31日		補助・負担開始年度	昭和	43	年度
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他( )		
⑧構成員の負担	負担なし		○負担あり	負担額	1会員	あたり 5,000 円

(個人会員の場合3,000円)

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率		
	32,000	30,000	30,000	31,000	単価を定めている→算式		
					○定額補助・負担	その他( )	
②過去における見直し状況	なし						
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	31,202 千円		R1歳出決算額	31,199 千円	翌年度繰越額	3 千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合			96.1 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正である	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	1現状のまま継続	○	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討		5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	前年に引き続き、一般社団法人として独立できるようスタッフを充実させ、自立した団体にする必要がある。自主財源の確保とともに自立した団体を目指す。			

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128065
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	鵜飼維持保存対策事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	小瀬鵜飼保存会			に対して	
	手段	小瀬鵜飼の維持保存の対策			を行うことで	
	受益者	鵜匠、船頭及び鵜飼関連事業者			が(を)	
	意図	鵜飼文化の維持、保存、継承に貢献する			という状態にする	
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和 40 年度		
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ( )	
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	18,500	19,392	20,000	20,000	単価を定めている→算式	
					○定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況	なし					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	20,000 千円	R1歳出決算額	20,000 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	変化なし	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	・現在活躍する船頭の高齢化に伴い、船頭の後継者不足が課題となっている。補助金額の船頭育成費を増加させることで、今後の後継者育成に重点を置く必要がある。 ・昨今は自然災害の影響もあり、乗船客の減少が著しいため、ターゲットを絞った効果的なPR活動が必要である。		

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128065
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	小瀬鵜飼観覧船購入事業		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	3分の1	負担額	2,500 千円
⑤支出の目的	対象	小瀬鵜飼観光客 に対して				
	手段	座席を設置した掘りごたつ式観覧船の整備 を行うことで				
	受益者	関遊船(株) が(を)				
	意図	鵜飼事業における観光客の満足度を向上させる という状態にする				
⑥期間	R 1 年 6 月 21 日 ~ R 2 年 3 月 16 日		補助・負担開始年度	平成 31 年度		
⑦事務局体制	<input checked="" type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	その他 ( )			
⑧構成員の負担	<input checked="" type="checkbox"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	<input type="checkbox"/> 補助・負担率を定めている→補助率	
			5,000		<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	
					<input checked="" type="checkbox"/> 定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況	なし					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	7,649 千円	R1歳出決算額	7,649 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		65.4 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	変化なし	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input checked="" type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128035
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	ふるさと夏まつり事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市武芸川ふるさと夏まつり実行委員会			に対して
	手段	花火大会・盆おどり大会等の開催に伴う補助			を行うことで
	受益者	市民、帰省された方及び事業所			が(を)
	意図	ふるさとの夏のイベントに触れる機会を提供する			という状態にする
⑥期間	令和元 年 5 月 22 日 ~ 令和元 年 10 月 30 日		補助・負担開始年度	17 年度	
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体	○その他 (武芸川まちづくり委員)	
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	2,700	2,700	2,700	2,700	単価を定めている→算式	
					○定額補助・負担	その他( )
②過去における見直し状況	なし					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	7,638 千円		R1歳出決算額	7,512 千円	
	R1歳入に占める補助・負担金の割合	35.3 %		翌年度繰越額 126 千円 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	事業規模維持に向けた協賛金の確保が必要である
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	地域住民の協力と一体感を醸し出す大会を目指しており、武芸川地域のまちおこしや産業及び観光の発展への役割は大きい
	交付先の事業成果は向上しているか	現状維持している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	今後も継続して開催するために、協賛金の獲得に力を入れる。各種団体との幅広い協働が必要である。		

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	あじさいまつり事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	あじさいまつり実行委員会				に対して
	手段	あじさいに因んだイベントやあじさいの管理等に要した費用の一部補助				を行うことで
	受益者	市民及び板取地域に訪れた人々				が(を)
	意図	交流産業の推進並びに板取地域の振興を図るとともに、自然環境保全に対する意識を高める				という状態にする
⑥期間	R 1 年 6 月 10 日 ~ R 1 年 10 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 17 年度		
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ( )	
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	4,500	4,500	4,500	5,147	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	平成27年度より50万円減額					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	4,770千円	R1歳出決算額	4,770千円	翌年度繰越額	0千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		94.3%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	現状維持している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続		2 補助・負担内容を見直す		3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討		5 終期を設定		6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	あじさいを通じて板取地域が活性化するよう魅力的な催しを実施することが求められる。				

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128040
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	津保川花火大会事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	津保川花火大会実行委員会			に対して	
	手段	花火大会の実施に伴う経費の一部負担			を行うことで	
	受益者	市民(武儀・上之保地域の住民)や観光客			が(を)	
	意図	ふれあいを深め、地域に賑わいと連帯感をもたらす			という状態にする	
⑥期間	R 1 年 5 月 10 日 ~ R 1 年 10 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 21 年度		
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ( )	
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	3,700	—	3,700	—	単価を定めている→算式	
					○定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況	武儀(毎年開催)・上之保(隔年開催)地域で別々に開催していた花火大会を統合し、開催することにより市からの補助金交付額を縮小した					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	6,459千円	R1歳出決算額	6,459千円	翌年度繰越額	0千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		57.3%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	津保川(武儀・上之保)地域の夏の地域イベントとして定着している
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	協賛金等地域の協力を得て活動を実施しており、これを継続したい
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	商工業者だけではなく、自治会を含む地域住民も協賛金に協力をしており、地域が一体となって開催するイベントとなっており、地域や観光の発展への役割は大きい
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続		2 補助・負担内容を見直す		3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討		5 終期を設定		6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	今後も継続して開催するために、協賛金の獲得に力を入れる。 ※第4回、第5回、第6回(R1年度)大会と年々協賛金が増えてきている。 <協賛金収入> 第6回(令和1年度)311万円、第5回(平成29年度)276万円				